

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 29 年 6 月 29 日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中区新栄 1-5-8	
氏 名 富士電機株式会社 中部支社	
中部支社長 若槻 滋	
電話番号 052-746-1000	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	富士電機株式会社 中部支社
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区新栄 1-5-8
計画期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	06 : 総合工事業
2 事業の規模	59,539 百万円
3 従業員数	340 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理 (委託) (委託) 再生 ⇒ 建設資材等に再資源化 ⇒ 再生できない物 ⇒ 最終処分場 (埋立処理)

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>本社環境管理部 ↓ 中部支社 環境事務局 ↓ 技術C E 部 (技術C E 部長) 店舗技術第二部中部技術課 (中部技術課長) 営業第四部一課 (営業第四部一課長) 産業流通技術部要冷技術課 (要冷技術課長) ↓ 各工事現場責任者 (廃棄物管理責任者)</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
1 現状	【前年度 (平成 28 年度) 実績】	※別紙 1 の通り
	産業廃棄物の種類	
	排出 量	t
	(これまでに実施した取組) 当社の産業廃棄物の排出量は、年度毎の元請工事受注量に左右され、撤去工事に伴う排出が主となるため、排出量の削減が難しい。この状況を踏まえて最終処分量の低減をはかるため、分別の徹底や可能な限り再生利用業者への処理委託を行った。	
2 計画	【目標】	※別紙 1 の通り
	産業廃棄物の種類	
	排出 量	t
	(今後実施する予定の取組) 主導的に産業廃棄物の削減が叶わない業種のため、排出される産業廃棄物の分別の徹底や、可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での各品目毎の分別を徹底している	

	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での各品目毎の分別を徹底する
--	-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
※該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
※該当なし			
②計画	【目標】		※該当なし
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※該当なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】		※別紙2の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t
	再生利用者へ の 処理委託量	t	t

		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>委託業者選定において、可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかってきた。</p>			

2 計画	【目標】	※別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を優先して選定する。 定期的に委託処理業者の現地確認を実施する。 定期現地確認の際に再生利用率の向上を確認する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1：産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状と②計画

産業廃棄物の種類	現状 前年度H28年度 実績	計画 目標	備考
コンガラ	299.500	240.000	
アスコンがら	420.500	336.000	
がれき	127.123	102.000	
ガラス	55.500	44.000	
廃プラ	206.477	165.000	
金属	312.423	250.000	
混合(安定)	87.120	70.000	
混合(管理型)	11.700	9.000	
紙くず	36.060	29.000	
木くず	72.549	58.000	
石膏ボード	152.950	122.000	
合計	1,781.902	1,425.000	

別紙2：産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 前年度(平成28年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定 処理業者へ の 処理委託量	委託状況			備考
			再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	
コンガラ	299.500		299.500			
アスコンがら	420.500		420.500			
がれき	127.123		114.411			
ガラス	55.500		55.500			
廃プラ	206.477		185.829			
金属	312.423		312.423			
混合(安定)	87.120					
混合(管理型)	11.700					
紙くず	36.060		36.060			
木くず	72.549		72.549			
石膏ボード	152.950		152.950			
合計	1,781.902	0.000	1,649.722	0.000	0.000	

②計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定 処理業者へ の 処理委託量	委託状況			備考
			再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	
コンガラ	240.000		240.000			
アスコンがら	336.000		336.000			
がれき	102.000	51.000	91.800			
ガラス	44.000	22.000	44.000			
廃プラ	165.000	82.500	148.500			
金属	250.000	125.000	250.000			
混合(安定)	70.000	35.000				
混合(管理型)	9.000	4.500				
紙くず	29.000	14.500	29.000			
木くず	58.000	29.000	58.000			
石膏ボード	122.000		122.000			
合計	1,425.000	363.500	1,319.300	0.000	0.000	